

萬マンガ?

萬ナマンガ!!

没後90年

萬鐵五郎展

YOROZU Tetsugoro 1885-1927

2017年4月15日(土)―6月18日(日)

〔開館時間〕 8:30-17:00(入館は16:30まで) 〔休館日〕 月曜日(5月1日は開館)

〔観覧料〕 一般／700円(650円) 高校生・学生／400円(350円) 小学生・中学生／300円(250円)

*()内は20名以上の団体料金

*療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をお持ちの方、およびその付き添いの介護者の方1名は無料となります。

*岩手県立美術館の「萬鐵五郎展」観覧券半券をご提示の方は団体料金で観覧できます。

*花巻市内に在住する小・中学生は受付で「まなびキャンパスカード(含ふるさとパスポート)」、高校生(花巻市内に在住する高校生、

花巻市内の高校に在籍する生徒)は生徒手帳、富士大学学生は学生証を提示すると、土・日・祝祭日の入館料が無料となります。

*花巻市消防団応援事業制度により「花巻市消防団員カード」のご提示で消防団員は全額、消防団員の同伴者(5名まで)半額の入館料が無料となります。

萬鐵五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135
PHONE.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405

没後90年

萬鐵五郎展

YOROZU Tetsugoro 1885-1927

2017年4月15日(土)―6月18日(日)

〔開館時間〕 9:30-18:00(入館は17:30まで) *5月19日(金)は9:30-21:00(入館は20:30まで) 〔休館日〕 月曜日(5月1日は開館)

〔観覧料〕 一般／前売800円(当日1,000円) 高校生・学生／前売500円(当日600円) 小学生・中学生／前売300円(当日400円)

*20名以上の団体は、前売料金と同額で観覧できます。

*前売券は、本展開募前日まで岩手県立美術館および岩手県民会館での販売となります。

*療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方1名は半額となります。

*生協組合員カードをご提示の組合員およびそのご家族は前売料金で観覧できます。

*萬鐵五郎記念美術館の「萬鐵五郎展」観覧券半券をご提示の方は前売料金で観覧できます。

*企画展観覧券で常設展もご覧になれます(4月25日(火)―4月27日(木)は展示替えのため常設展はご覧いただけません)。



岩手県立美術館
IWATE MUSEUM OF ART

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字松幅12-3
PHONE.019-658-1711 FAX.019-658-1712

これが、萬だ。

これが、萬だ。

岩手県立美術館は大回顧展

自身が求める表現をひたむきに探求し、苦闘しながら独自の絵画世界を創り上げた萬鐵五郎（よろず・てつごろう、1885-1927）。その存在は、個性派と呼ばれる芸術家を数多く輩出した大正時代において、ひととき鮮烈な輝きを放っています。当館コレクションの最重要作家である萬の作品を、今回初めて企画展でご紹介します。

岩手で萬の本格的な回顧展が開催されるのは、実に20年ぶり。その間に、素描やスケッチ群、挿絵や装丁、ガラス乾板写真といった周辺作品や関連資料の調査が進み、一方では、萬が活躍した大正時代の文化を様々な視点から紹介する展覧会も増え、萬の制作活動はより多角的な側面から見直されるようになっていきます。

没後90年を記念して開催するこの大回顧展では、修業時代から晩年に至るまでの代表的な油彩画に、素描・水彩・版画・資料などを含めた約350点で、萬鐵五郎という画家の魅力と、その表現の本質に改めて迫ります。

■ 関連イベント

オープニング討論「萬芸術を赤裸々に語る」

〔出演〕原田 光 氏（前当館館長）
平澤 広 氏（萬鐵五郎記念美術館学芸員）
根本 亮子（当館主任専門学芸員）

〔日時〕2017年4月15日（土）14:00—15:30 〔場所〕ホール
*参加ご希望の方は当日直接ホールへお越しください。参加無料です。

講演会「近代絵画再考—画家の眼でみる萬作品」

〔講師〕山口 晃 氏（画家）
〔日時〕2017年5月20日（土）14:00—15:30 〔場所〕ホール
*参加ご希望の方は当日直接ホールへお越しください。参加無料です。

ギャラリートーク

〔日時〕2017年4月28日（金）、5月12日（金）、5月26日（金）、6月9日（金）
各日 14:00—（30分程度）

〔会場〕企画展示室

*本展観覧券をお持ちの上、直接企画展示室にお越しください。

ナイトミュージアム

2017年5月19日（金）は21:00までご覧いただけます（入館は20:30まで）
コンサートの開催やミュージアムカフェ、レストランでの特別メニューなど、さまざまなイベントやサービスをご用意しています。

展覧会会期中はレストラン「パティオ」にて特別メニューをお楽しみいただけます。

1. 「裸体習作」1908年頃 木炭・紙 岩手県立美術館
2. 「裸婦」1909年 油彩・画布 岩手県立美術館
3. 「赤い目の自画像」1913年頃 油彩・画布 岩手県立美術館
4. 「自画像」1915年頃 油彩・画布 岩手県立美術館
5. 「太陽と道」1912年頃 油彩・板 萬鐵五郎記念美術館
6. 「木の間風景」1918年頃 油彩・画布 新潟県立近代美術館・万代島美術館
7. 「筆立のある静物」1917年 油彩・画布 岩手県立美術館
8. 「水浴する三人の女」1921年頃 木炭・紙 岩手県立美術館
9. 「ねて居るひと」1923年 油彩・画布 北九州市立美術館

Twitter / @IMA_info
Facebook / iwatemuseumofart.jp

岩手県立美術館の最新ニュースやイベント情報等をお届けするメールマガジンを配信！



登録方法は2通り。手軽にカンタン！メールアドレスを送るだけ！
・二次元バーコードを携帯電話で読み込む
・「ima@ok-pro.jp」に空メールを送る
※ドメイン指定受信を設定している方は「ok-pro.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いします。



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.



9.



岩手県立美術館
IWATE MUSEUM OF ART

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字松橋 12-3
12-3 MATSUHABA, MOTOMIYA
MORIOKA, IWATE, 020-0866 JAPAN
Phone.019-658-1711 Fax.019-658-1712
http://www.ima.or.jp
E-mail:info@ima.or.jp

〔交通案内〕

盛岡駅東口より／岩手県交通バス盛南ループ200乗車、
「県立美術館前」下車
盛岡駅西口より／徒歩20分
タクシーで5分

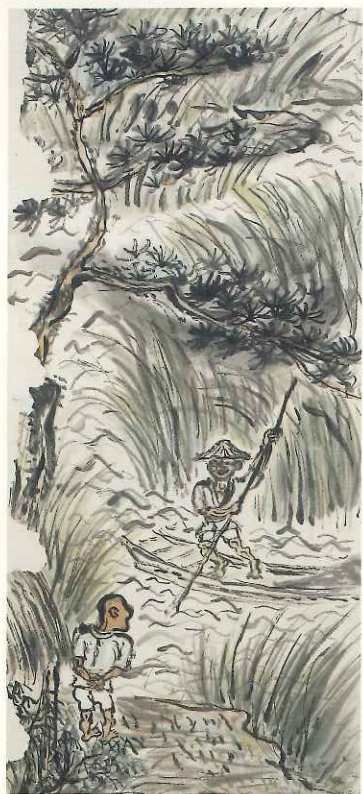
*岩手県立美術館の管理運営は公益財団法人岩手県文化振興事業団が行っています。



1.



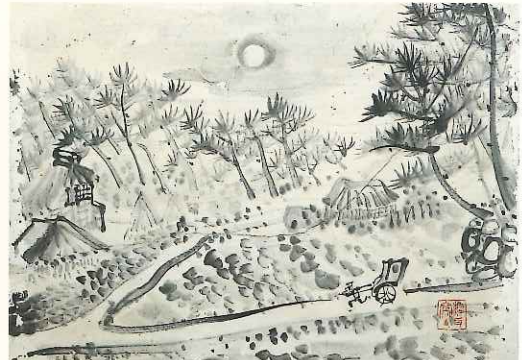
2.



3.



4.



5.



6.



7.

1. 「冬景(雪道を行く男)」1914年頃 紙本墨画 萬鐵五郎記念美術館
2. 「山水図」1926年 紙本墨画 神奈川県立近代美術館
3. 「水郷」1925年頃 紙本彩色 岩手県立美術館
4. 「溪流に魚を釣る」1917-18年頃 紙本彩色 岩手県立美術館
5. 「帰り道」1922年頃 紙本墨画 萬鐵五郎記念美術館
6. 「秋景農夫図」1922年頃 紙本墨画 萬鐵五郎記念美術館
7. 1922年、野嶋照正邸で開かれた「萬鐵人日本画展覧会」の様子

萬マンガ？ 萬ナンガ!!

萬鐵五郎記念美術館はナンガ(南画)

マンガか？ ナンガか？ 萬南画(水墨画)。

筆が躍り 墨が走る。下手なのか 上手いのか。

不真面目なのか 真面目なのか。浅いのか 深いのか。

どこがいいのかわからない。それでいて、どこことなく憎めない。そして不思議と残る。記憶に残る拙さ加減。大真面目に下手くそなナンガ(南画)を描いた萬鐵五郎(よろず・てつごろう、1885-1927)。

萬という画家を語るうえで、欠かせない表現として南画があります。萬鐵五郎記念美術館では、代表的な南画作品100点余りをピックアップし、初期から晩年までの南画表現の変遷を紹介しています。今回の展覧会では、南画と油彩や水彩画の相関をあきらかにし、彼が求めた絵画とは何だったのかその答えに迫りたいと思います。ふしぎな不思議な萬ナンガの世界を、皆さんもその目で確かめてみませんか。

※南画(なんが)は、中国の南宗画に由来する水墨表現の一分野で、日本では江戸時代中期以降に発達。萬鐵五郎は、南画に洋画の表現主義との一致点を見だし、南画のエッセンスをとり入れた独自の絵画表現を追い求めた。

■ 関連イベント

第37回 萬鐵五郎祭

〔日時〕2017年5月3日(水・祝) 〔会場〕萬鐵五郎記念美術館前広場

- 式典—5月3日(水・祝) 14:00—14:30 献花、「鉄人独語」朗読など
- 茶会—4月16日(日) 10:00—15:00
〔会場〕東和温泉(第一席・第二席) 〔実施団体〕東和町茶道研究会
- 写生会—4月23日(日) 9:00—12:00
〔会場〕萬鐵五郎記念美術館周辺 〔参加費〕500円
※自分の作品をマイバッグにプリントサービス
- 写生会—4月25日(火)—5月14日(日) 9:00—17:00
作品展 (4月29日、5月1日—5日は休館です。)
〔会場〕花巻市立東和図書館(花巻市東和町安俣6-90)

土澤アートクラフトフェア

県内外から美術品や工芸品、いろいろな手づくり作品のお店300組が大集合

〔日時〕5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 10:00—16:00

〔会場〕萬鐵五郎記念美術館前庭&土澤商店街

■ 同時開催

iwate コンテンポラリーアート vol.6 『村上 誠』展

〔日時〕4月15日(土)—6月18日(日) 9:00—16:30

〔会場〕萬鐵五郎記念美術館「八丁土蔵ギャラリー」

〔料金〕入場無料

萬鐵五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405

〔交通案内〕

- ・JR釜石線「土沢駅」から徒歩8分
- ・JR東北新幹線「新花巻駅」から車で10分
- ・釜石自動車道「東和I.C.」から2分



没後90年 萬鐵五郎展 YOROZU Tetsugoro 1885-1927 2017年4月15日(土)—6月18日(日)

岩手県立美術館 〔出品点数〕油彩画・水彩画・素描を中心に約350点
萬鐵五郎記念美術館 〔出品点数〕南画(水墨画)100点と関連作品30点

〔主催〕岩手県立美術館、公益財団法人岩手県文化振興事業団、萬鐵五郎記念美術館

〔後援〕一般社団法人岩手県芸術文化協会、岩手県商工会議所連合会、岩手日報社、河北新報社、盛岡タイムス社、岩手日日新聞社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、

毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオもりおか、

岩手ケーブルテレビジョン、花巻ケーブルテレビ、奥州エフエム、えふえむ花巻、マ・シェリ、情報紙 ゆうゆう

岩手県立美術館・萬鐵五郎記念美術館 [2館同時開催]